

令和6年度 第1回 天王寺区政会議

日 時：令和6年8月6日（火）

午後7時03分～午後8時48分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

大野委員、岡崎委員、平嶋委員、平田委員、山田委員、吉田委員、川畑委員、
東川委員、南委員、石野委員、佐藤（哲司）委員、佐野委員、高橋委員、
竹田委員、長谷川委員、榊井委員※、岡内委員※、立川委員、三輪委員、
森谷委員、安田委員

※榊井委員、岡内委員はオンライン参加

出席21人／定数36人

（市会議員）

金子議員、須藤議員

（天王寺区役所）

末村区長、丸谷副区長、高嶋企画総務課長、森岡事業戦略担当課長、高橋（典良）企画総務課長代理、武部市民協働課長、北島市民協働課安全まちづくり担当課長代理、原田教育文化担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、近藤市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区教育担当課長代理、大島保健福祉課長、森本保健福祉課福祉担当課長代理、寺戸子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、草川保健福祉課子育て支援担当課長代理、高橋（幸子）保健・生活支援担当課長、黒田保健福祉課保健・生活支援担

当課長代理、尾古貴窓口サービス課長、佐梁窓口サービス課保険年金担当課長代理

○森岡事業戦略担当課長

皆様、大変お待たせいたしました。定刻がまいりましたので、ただいまより令和6年度第1回天王寺区区政会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、また大変暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。私、天王寺区役所事業戦略担当課長の森岡でございます。どうぞよろしく願いいたします。

まず、先日お送りした資料につきまして、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら手を挙げていただけますでしょうか。皆さんお持ちですかね。ありがとうございます。

本日、別途机の上に置かせていただいております事前にいただいた区政会議の議題等へのご意見、ご質問という資料、こちらも併せて今日は見ていただきたい資料として置いておりますので、ご確認ください。

それでは、議題等に入ります前に報告事項がございます。服部副議長におかれましては、本日欠席となっております。委員の皆様には、くれぐれもよろしくお伝えするようお聞きしておりますので、よろしく願いいたします。

議題等に入る前に、本日ご出席の委員の皆様をご紹介します。

本日ご出席の委員の皆様は、お配りしている配席図の資料になっておりますので、ご確認ください。現在の区政会議委員の皆様は、令和5年10月1日から令和7年9月30日を任期としまして、地域団体のご代表23名、公募委員13名、合わせて36名の方々に構成されております。委員全員の名簿は資料1の区政会議委員名簿（班別）という資料をお配りしていると思いますので、その資料をご確認いただきまして、個別の紹介は割愛いたします。

なお本日、子育て教育班の池田委員、佐藤委員、地域福祉健康班の江畑委員、奥野

委員、橋本委員、堀井委員、地域社会づくり班の上田委員、藤本委員、情報発信班の酒井委員、宮寄委員におかれましては、欠席の旨、ご連絡をいただいております。また、地域社会づくり班の榊井委員、情報発信班の岡内委員は、本日オンラインによる参加となっております。

本日の区政会議には、お忙しい中、金子議員、須藤議員にご出席をいただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後に、ご助言、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

続きまして、ここにおります区役所職員のうち、本年度の4月1日付で異動がありました者についてご報告いたします。

企画総務課長、高嶋でございます。

教育文化担当課長、原田でございます。

保健・生活支援担当課長、高橋でございます。

市民協働課安全まちづくり担当課長代理、北島でございます。

保健福祉課福祉担当課長代理、森本でございます。

保健福祉課子育て支援担当課長代理、草川でございます。

窓口サービス課保険年金担当課長代理、佐梁でございます。

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は議事の全てが対象となることをご了承願います。

それから、議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音させていただいております。また、全市的な取組としまして、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、本日の区政会議は、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

本日の会議は、傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行いたします。各班での審議の際、傍聴者の方は各会議室を回っていただいて差し支えありませんが、傍聴要領は遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の様子を広報紙等に掲載いたしますため、事務局が会議中に写真を撮らせていただくことがございます。

職員からの説明は、端的に簡潔に心をかけまして、委員の皆様のご意見をいただく時間をできるだけ設けたいと考えております。

また、今回の会議から事前にご意見、ご質問等をいただいております。先ほどご説明した机の上に置かせていただいている資料でございます。これを私どもの回答、対応と併せまして、より議論を深める材料としていただければ幸いです。

それでは、次第に戻ります。

続きまして、末村区長よりご挨拶申し上げます。区長、お願いいたします。

○末村区長

皆様、こんばんは。4月に着任いたしました区長の末村祐子です。様々な会議等の場で既にご挨拶させていただいております皆様、また本日初めてお目にかかる皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大変お忙しい中、ご出席いただいておりますこと、また日頃より区政へのご理解、またご連携、ご協力、ご助力、賜っておりますこと心より感謝申し上げます。

本日は、本年度1回目、改選後2回目の区政会議ということになります。引き続き、皆様と様々な施策・事業について意見を交わさせていただきながら、住んでよかったですと思っただけの天王寺区をめざして努力をまいります。

本日の議題は、「令和5年度区運営方針の実績・評価及び課題」となっております。こちらをご説明させていただきました後に、班に分かれていただきご討議をいただく予定です。

先ほど進行のほうからもお話をいたしましたように、区役所側からの説明についてはできるだけ簡潔に行うように努めてまいります。また、事前にいただいておりますご意見、ご質問へのご回答を机の上に置いておりますので、先ほどと同様になりますけれども、より議論を深める材料としていただければと存じます。

2025年には、大阪・関西万博が開催されますのと併せまして、天王寺区にとっては区制100年という大変大きな節目の1年となるかと存じます。天王寺区といたしましても、より一層区政を盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞさらなる皆様方のご理解、ご連携のほどよろしくお願い申し上げます。

本日、お暑い中と申しましたことに加えまして、先ほど雨の関係で警報が出たところでございます。担当のほうにも申しましたけれど、雨の状況なども見ながら、皆様方を大変な雨の中お帰しするようなことがないように、少しばかり時間の配分などについては柔軟に進めてまいるといようなこともあろうかと存じますので、その際にはどうぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますけれども、本日もどうぞよき対話の場となるよう願っておりますので、よろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

○森岡事業戦略担当課長

それでは次に、竹田議長からご挨拶をお願いいたします。

○竹田議長

議長の竹田です。本日は皆さん、ご多用の中、またお暑い中、ご参加いただきましてありがとうございます。

本会での皆さんのご意見が今後の行政のよりよい取組につながっていくものと期待しております。皆さんのご協力のもと議事を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行については、竹田議長にお願いしたいと思います。

竹田議長、よろしくお願いいたします。

○竹田議長

では、議事に入らせていただきます。

初めに、事業戦略担当課長より本日の流れを説明いたします。よろしくお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

区政会議におきましては、年度を通じて区政委員の皆様にご協力いただくことは次のとおりです。今回の第1回区政会議で、前年度に区役所が進めた事業について評価をいただきまして、さらに本年度の課題についてご意見をいただく場としております。

また、12月頃に予定しております第2回区政会議におきましては、本年度の取組から、次年度に区役所が行うべき事業についてご意見をいただきながら、次年度の区の運営方針等を固めていくという流れになっております。

本日は、令和5年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題について取り扱います。本日の議題について、まず末村区長より説明の後、審議に移ります。

審議は、分科会形式により班ごとでお願いしております。班ごとに議論、ご意見いただきたいテーマ、経営課題を設定しておりますので、その課題を中心に8時20分頃まで各班で議論し、その後、各班で出た意見等を全体で共有いたします。

司会進行は、各施策・事業を所管する課長、課長代理が担当いたします。

議題は8時40分頃に終了し、続いて区長から一言申し上げます。

また、締めにあたっては、金子議員、須藤議員よりご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、事前にお送りしておりました天王寺区区政会委員評価シートにつきましては、本日、お帰りの際に事務局にお渡しいただきますようお願いいたします。

流れの説明は以上でございます。

○竹田議長

ありがとうございます。

それでは、末村区長より、皆さんのお手元の資料2、令和5年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題についての3ページから5ページを中心にご説明いたします。

末村区長、よろしく申し上げます。

○末村区長

それでは、私からご報告をさせていただきます。今、議長にもおっしゃっていただきましたように、3ページ目をまずご覧いただければと存じます。

天王寺区の目標、何をめざすのかについてですが、天王寺区将来ビジョンのほうに記載をさせていただいております、5点、読み上げさせていただきます。「みんなの思いが区政に反映されているまち」「子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べるまち」「誰もが安全で安心していきいきと暮らし続けられるまち」「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集い、にぎわうまち」「つながり合い、支え合い、助け合うまち」、以上の実現をめざした令和5年度の振り返り、また今後の方針についてをご報告させていただきます。

座らせていただきます。

4ページ目についてでございますけれども、4ページ目で運営方針全体の振り返りについてご報告をいたします。

5ページ目については今後の方針について、各ページともに4項目に分けて記載をさせていただいておりますが、4ページ目、5ページ目ともに記載の順番、テーマ、カテゴリーは同じでございます。

こちらの4つのカテゴリーについては、今ご報告を申し上げました、将来ビジョンのほうからご報告を申し上げました5つの点に、少しばかり順番が変わっておりますけれども、連動するという形をとらせていただいております。

1つ目、経営課題1、子どもが健やかに育ち、未来に向かって学べる環境づくり。子育て支援、学習支援等の取組について積極的な周知を行うとともに、心身の発達・性格行動など、子どもに関する様々な相談が増加していることから、相談体制の充実と、相談に至るまでの子どもや保護者の抱える問題について幅広く把握する取組が必要です。

経営課題 2、気にかける、つながる、支え合う地域福祉。地域コーディネーターの配置により、福祉の情報提供や相談対応などを行う場を地域につくることで見守り体制の強化に努めたが、地域の高齢者、障がい者の孤立化を防ぐ取組の推進が必要です。

経営課題 3、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりと地域の力を結集した「防災力」向上の取組。幅広い世代への地域活動の広がりが十分ではなく、区民の地域活動への関心や関与を高める方策を検討する必要があります。また、依然として非常準備品の用意率や家具転倒防止対策率は目標を下回っております。区民の皆様の防災意識が向上し、実際の行動に移すための啓発の方策を検討する必要があります。

経営課題 4、歴史的・文化的資産を活かした積極的な魅力発信による地域の活性化。歴史的・文化的資産を活かしたこれまでの取組に加え、新たな視点からも天王寺区の魅力を掘り下げ、発信していく必要があります。

5 ページ目に参ります。経営課題の内容は同じでございますので、ナンバーだけ読み上げさせていただきます。

経営課題 1、こちらについては、専門相談員等による情報提供と相談はもとより、発達が気になる子どもと保護者対象の学習や交流の場の提供、不登校児童への家庭訪問、外国人児童等へのコミュニケーション支援等、子育てに特に不安があるご家庭への支援を充実いたします。というのが今後の方針でございます。以下、全てについて今後の方針です。

経営課題 2、高齢者等見守り支援事業の認知度向上、同意を得られる方の増加を図るため、見守り相談室と連携し効果的な周知・広報を行うとともに、地域の活動者の皆様からの情報を活かし見守り登録へつなげます。

経営課題 3、身近な地域における人と人とのつながりづくりを促進するため、日頃からの顔見知りづくりの大切さを感じてもらえるような広報・啓発に取り組みます。また、個別避難計画の策定を通じて、緊急時に助け合える地域のつながりづくりに取り組み、共助を促進するとともに、非常準備品の用意や家具の転倒対策に係る啓発・

広報により自助の促進に引き続き取り組みます。

経営課題4、歴史的・文化的資産を活かした魅力発信の取組に加え、2025年大阪・関西万博及び天王寺区制100周年の相乗効果による盛り上げに向けた広報に取り組みます。

以上で今後の方針となります。以上で説明を終えさせていただきます。

○竹田議長

ありがとうございます。

それでは、これからは班ごとの審議に移ります。事業戦略担当課長からの案内をお願いします。

○森岡事業戦略担当課長

ただいまより、班ごとの会議室をご案内いたします。子育て・教育班は5階、市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は502会議室へ、情報発信班は301会議室へ、地域福祉・健康班はこのまま講堂にお残りください。係の者がご案内いたします。

金子議員におかれましては、いずれかの班、または順次各班を回っていただき、意見交換の様子をご覧ください。

須藤議員におかれましては、今日は所用によりご退出なさるということですので、よろしく願いいたします。

各班で議論いただいた後、8時20分、先ほど申し上げましたが、天候によりまして短くさせていただく可能性もございますが、通常の間ですと8時20分ぐらいをめどに3階講堂へお戻りいただくこととなります。

それでは、係の者が会議室まで皆さんをご案内いたしますので、担当の方、誘導をお願いいたします。

(分科会討議)

○竹田議長

それでは、各班から意見等についてご報告をお願いします。

○子育て・教育班記録係（高橋課長代理）

では、子育て・教育班からご報告をさせていただきます。

吉田委員からいただきましたご意見としまして、発達が気になる子どもが増えている一方、ケアする人が少ないし、情報も不足していると。登下校時に見守りしていただいている方の情報というのが結構学校に届いており、学校のほうも助かっているというふうなことも聞いていると。そういった方は細かいところまで見てくれており、すぐ情報も分かりやすいので、そういった情報をぜひ取り入れてもらいたいというふうなご意見をいただいております。

山田委員からは、不登校の増というのはコロナの影響が続いているのであろうというふうなことと、あと不登校については、学校の先生による訪問というのも難しいので、やはり専門員の配置が望ましいというふうなご意見をいただいております。

あと学校へのサポーター派遣につきましては、人数が少なくて困っているというふうに聞いていると。早く十分な人数を確保できればいいと思う。そのためにも学校の先生を退職されたOBの方、OGの方ですね、そういう方々に学校に戻ってもらえないか、そういう仕組みがあれば望ましいというふうなご意見をいただいております。

平田委員からは、通訳のボランティアにつきましては、年齢の制限というふうなことではなく、お手伝いできることがあればいいというふうに考えると。共励会のほうでも会員の方としてボランティアの通訳できる方もいらっしゃるのでは、お役に立てればというご意見をいただいております。

平嶋委員からは、アウトカムの目標については区民アンケートの評価というふうなことなんですけれども、子どもの評価というのが入っていないということで、学校も子どもたちを対象にアンケートとかもしていると思うので、ぜひそういった意見も参

考にしてもらったらいいいんじゃないかというご意見をいただいております。

相談について件数がどんどん増えているという状況なんですけれども、これは相談が増えているということの反面、どこに相談すればいいのかというのは皆さん分かっているという点については、一方ではよいことかなというご意見をいただきました。

あと、職業講話もとてもいいことですし、キャリア学習についても生徒さんも楽しみにしているので、ぜひどんどんやらせてもらえたらというご意見をいただいております。

岡崎委員からは、学校の関係者の方たちに外国にルーツを持たれる児童のこととかについてもお聞きしていただいたところ、時間外のトラブルの対応、夜間の対応ですね、通訳できる方がいないということとかも課題かなというご意見をいただきました。

あと、翻訳機を使ったりするというふうなこともあるんですが、外国で方言のある地域の方については、なかなか翻訳機についてもうまく通訳もできないというところもあって、意思疎通が難しいところがあるということ、あと日本語指導の拠点校が少ないというご意見もいただいております。

大野委員からは、子どもの居場所については、大学生とかのボランティアもいいんだけど、中学生や高校生のボランティア、近隣の中学生・高校生のボランティアが関わってもらってもいいんじゃないかというご意見をいただいております。

あと、学校に通っておられる子どもさんが私立の学校に行っておられるとなかなか情報が入ってこないということで、広報紙だけでは忙しい保護者の方は見る機会がなかなかないので、広報紙以外のもっと別のいろいろな方法、広報で事業の周知などというのをやらせてもらえたらいいんじゃないかというご意見をいただきました。

以上です。

○地域福祉・健康班記録係（辰巳係長）

それでは私から、地域福祉・健康班のご意見を紹介させていただきます。

まず川畑委員より、独居見守りに当たってですけれども、町会というものが大事な

ファクターだと考えているというところですが、町会の加入率が減少しているというご意見がありました。ですので、町会の在り方というものも検討していく必要があるのではないかとご意見を頂戴いたしました。

また有事の際に、ドクターですとか歯科医師、薬剤師の連携は必要と思っているけれども、例えば行政のほうで仮の診療所ですとか施術の場所など、そういったところも検討していく必要があるのではないかとご意見を頂戴いたしました。

また東川委員からは、独居の見守りについてですけれども、まず独居の見守りの対象が75歳以上で介護保険を受けていらっしゃる方を除くというふうになっているところですが、見守りをするに当たっての同意率を上げていくのが課題ではないかというご意見を頂戴いたしました。

また、高齢の方でもちょっとした調理とか、健康の推進に当たってそういったものをしていきたいという方もいらっしゃるかと思うので、食生活改善推進協議会、食推協のほうのイベントをもっとアピールしてほしいというご意見を頂戴いたしました。

また南委員からですけれども、独居の見守りに関わって町会の加入につきまして、マンション自体がすっぽり町会から抜けているというようなこともあるので、そういったものも区としての課題、問題ではないかというご意見を頂戴いたしました。

またその見守りに当たって、ボランティアの方が見守りに当たっているというふうな話をお聞きされたところ、昔は学生にお願いするような話もあったというふうな話もいただきまして、やっぱりボランティアの人数というものももっと考えていく必要があるのではないのかなというご意見を頂戴いたしました。

以上です。

○地域社会づくり班記録係（関口係長）

それでは、地域社会づくり班から報告いたします。

まず石野委員からは、防災に関しては町会単位の取組は重要であるというご意見と、

例えば能登半島地震でもトイレが問題になったというような形で、具体的に危機感をあおるような広報で、個々の備蓄とか家具の固定などを呼びかけてはどうかというご意見をいただいています。

佐藤委員から、町会で防災をもちろん取り組んでいるんですけども、加入していない人に対して防災のPRをどうしていくのかという問題がちょっと難しいというようなことと、一口にマンション防災と言いましても、低いところと中層と高層で、例えばエレベーターが止まったときの対応であるとか、そういうのに違いがあるのではないかとということで、防災でも低層・中層・高層で分けて考えてみてはどうかというご意見をいただいております。

佐野委員からは、防災の出前講座とか防災動画、そういったものに関しては、町会単位だけではなくて、小学校のPTAであるとか、老人会であるとか、そういったところで直に区特有の問題を取り上げたようなものを広報していくのが有効ではないかと。

あるいは、備蓄品をどこで、幾らぐらいで買えるのかという具体的な情報というのをもっと欲しいなということでご意見いただいております。

町会に関しては、役員の高齢化に関して問題意識を感じていらっしゃるということでした。

高橋委員なんですけれども、小中学校で学校キャンプなどの災害体験ですね、そういったものを実施すれば、小中学生というのは家の外で習ったことを家に持ち帰ってくれるので、そういった取組は有効ではないかというところと、防災の動画を例えば区役所でつくるのであれば、見たいような、おもしろみであるとか、適切な時間を区切ったものが要るんじゃないかというところ、あと町会加入に関しましては、入るメリットというのをもっとアピールしていく必要があるのではないかとご意見をいただいております。

長谷川委員なんですけれども、桃丘地区にお住まいということなんですけれども、

地区の特性といたしまして、五条小学校に帰属意識がある方というのが多いということで、その中で町会の取組があまり町会の方に関してぴんときてないところ、難しいところがあるというような悩みというか、ご意見をいただいております。

あとは防災に関しまして、町会に入っているご家庭、入っていないところのご家庭の扱いの差というか、そういったものがやはり難しいなということでご意見いただいております。

梶井委員からは、高層マンションの防災に関しての問題意識をいただいております、エレベーターが止まってしまうと高層階に住んでおられる方は上に戻れない、あるいは高齢者の場合は、もうエレベーターが止まったら上がるどころか下りるのもできないというところなので、そういった方々に関しまして、情報共有というのは必須ではないかということでご意見いただいております。

最後に竹田委員からなんですけれども、今広報紙、全戸配布しておりますように、例えば防災に関する非常準備品とか家具の転倒対策、そういったことに対して具体的なことが書いてあるような防災だけの号というか、そういったものを全戸配布してみてもどうかというご意見をいただいております。

町会に入っている、いないにかかわらず、つながりというのは大切という認識がありますので、子どもを介してつながっていく、祭りとかイベントとか、そういう取組というのは大切にしていきたいということでご意見いただいております。

こちらからは以上です。

○情報発信班記録係（近藤課長代理）

それでは、情報発信部会の報告をしてまいりたいと思います。

森谷委員からは、SNSのことなんですけれども、やっぱりSNSに疎い人もいますので、例えばイベントの中で対面でお話ししながら、情報をお伝えしながら発信するという、対話をするというやり方が一番伝わるし、効果的であるというご意見を頂戴しました。また、区長と中学生の対話であるとか、あともりあげ隊など、対面の発信

ということも効果的だということでご意見をいただきました。

あと、2025年が万博というのはもうみんな知っているけれども、区制100周年というのは案外まだ知られていないなどのご意見を頂戴しまして、そのあたりはもっと頑張らないといけないなと思いました。ありがとうございました。

次、三輪委員なんですけれども、広報紙に載っております天王寺と博覧会の講演会とパネル展について、とても興味を示していただいております。天王寺ミオという場所もよいということで、広報紙のみならずもっと広報を工夫されてはいかかということで、ポジティブな感じでおっしゃっていただきました。ありがとうございました。

あと、大阪市のほかの区の広報紙もいろいろご覧になって勉強されているということで、広報については、大阪市としてもっと共通認識があってもいいのではないかと、いろいろなものを載せてはるので、ほかの区のものも参考にしているのではないかとということでご意見を頂戴いたしました。

立川委員なんですけれども、旧ツイッター、Xなんですけれども、フォロワー数が全然ないと、もう全くツイートする数も足りていないということで、もうこれは全然届いていないし効果的とは言い難いというご指摘がございました。

天王寺に関しては、本当に魅力的なコンテンツが多い、夏祭りにしても四天王寺さんとか、いくたまさんとか愛染さんとかいっぱいあると。あと、自身の天王寺の広報がしんどいというのであれば、近隣の事業所とか民間でもやってはることをリツイートするだけでも訴求できるので効果的であろうということと、あと広報紙に関しては、5万部も配っているのにエンゲージメントをとっていないところがちょっと懸念されるというご意見でございました。これを解決するためには、ちゃんとスケジューリングをしてきちんと投稿数を確保するというのと、あとは例えば市長とか知事とかにリツイートをお願いするとか、そういうことも考えてはどうかという意見をいただきました。

あとユーチューブなんですけれども、せっかく子どもたちに関するものがコンテンツとしていろいろ載っているのに、全然再生回数が回っていないというご意見でございました。

次、安田委員なんですけれども、天王寺と博覧会の講演会のことをご興味いただきまして、この切り口なんですけれども、イベントとして、例えば歴史と食とか、食べること、食べるものじゃなくて、例えば食材、大根、きゅうりとか、博覧会と食材とか、そのような切り口で何か楽しいイベントができないかというご発言がございました。

SNSに関しては、そういうのが得意な若い職員の方とかもたくさんいらっしゃるから、そちらの中でも役割分担をされてはどうかということでご意見を頂戴しました。

岡内委員なんですけれども、経営課題の資料についてご意見を頂戴しました。何々をやりましたみたいなことを書いているんですけれども、例えばキャッチコピー・絵画ポスターコンクール何点応募があつて、どういう結果だったかとか、あとまち歩きとかも何人の参加があつたかとか、参加された年齢層とかそういうものも分かるように資料にも載せていただきたいということでした。

それと、万博とかも通じて子どもたちへのアプローチがもっとあればいいなということで、子どもたちがわくわくするような企画とかそういうものをもっと発信して、情報発信の内容も子どもたちにもっと伝わるようなものに工夫されてはいかがというご意見を頂戴いたしました。

以上でございます。

○竹田議長

ありがとうございます。ご報告ありがとうございます。皆様のご意見がこれからの行政のよりよい取組につながっていくものと期待しております。行政の皆さん、よろしく願いいたします。

議題は以上で終了です。ここで区役所に進行をお返しします。よろしく願いしま

す。

○森岡事業戦略担当課長

竹田議長、ありがとうございました。

それでは、会議全体を通しまして、末村区長からコメントをお願いいたします。

○末村区長

皆様、長時間にわたりまして、全ての班において大変情熱と、それから天王寺への深い深い愛情を感じさせていただけるようなご議論をいただきまして、本当にありがとうございました。

全ての班において、日々私どもが区政で各課が業務に当たるときに、こういうところを留意していかなくちゃとか、こういうところを強化していかなくちゃというふうに思っているようなところをより詳しく、またより配慮に富んだところでご意見をいただいたというようなこともたくさんあったように存じました。

また、食推協の皆様方のような情報発信、強化をしたほうがいいよとか、あと私がちょうど傍聴に入らせていただいたその瞬間にお耳に直接することができて、我が意を得たりと思いましたが、防災の担当課の職員がセミナーとか講座に地域の皆様のご配慮をいただいて出向かせていただくには、マンパワーが限定的になりますので、皆様おいでいただける時間を限定しない動画や情報発信、いつでも見ていただけるけれど、特に備蓄のことなんかは、見ていただいたらすぐにこうしようと思えるような動画をつくってみない？なんていうことをちょうどお話をしておりましたところに、今日の区政会議で皆様からも同様のご意見がいただけたところに出くわしまして、大変心強く思いましたので、ますますこれからの予算協議も含めて、力を入れていっていいんだなと思わせていただいたところでございます。

1つだけの事例ではございますが、そのほか全ての班の皆様方のご意向、ご意見がそのように思えることばかりでございましたので、これからまた職員と力を合わせて、知恵を合わせて、皆様方にますます、もとより「住んでよかった」と思っていきたい

ている天王寺でございますけれども、ますますよかったと言っていたような区政をめざしてまいりたいと思います。

長時間にわたって本当にありがとうございます。皆様に熱のこもったご議論をいただいている間に何とか雨のほうも、一時ちょっと心配するような数字が出ておったんですけれど、何とかなっているようでございます。長時間、温かいご意見をいただきましたことに感謝申し上げまして、私からのコメントとさせていただきます。ありがとうございました。

○森岡事業戦略担当課長

それでは最後になりますが、金子議員から一言いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○金子議員

皆さん、長時間お疲れさまでございました。毎回同じことを申し上げていると思うんですけれども、本当に各部会で非常に闊達な意見交換がなされておりました、少しずつでしか私のほうは聞けていないんですけれども、聞かせていただいている中でも、皆さん本当にいろいろなご意見をいただいて、いつも勉強させていただいているところでございます

天王寺区におきましては、天王寺区役所、区政会議の反映をすごくきちんとされているなというのを私はいつも感じております。真摯に受け止めて、行政の人たち、しっかりとお応えさせていただいているように思っておりますので、本当にこの区政会議、形だけではなくて、皆さんの重要なご意見をしっかりと行政が吸い取って、行政の事業に活かしていくというこの形が出来上がっていると思っておりますので、今回も全ての社会問題をぎゅっと閉じ込めたというか、吐き出したというか、そういった皆さんのご意見だったのかなと思えました。

例えば地域福祉の皆さんのところでは、独居老人の方々の対応について非常に苦慮されていると。確かに独居老人の対応に苦慮するということもあるんですけれども、

独居老人かどうかという基準がですね、ふとお聞きしたところでは、息子さんと2人で暮らしているけど息子さんがほとんどいないので、ほとんど独居老人と同じけれども独居老人の方ということで今利用するのはどうかというような問題もあるということで、様々な地域の人たちの目の前で見た課題というのが出てきて、本当に有意義な時間だったのかなと思います。

それでは、行政の皆様にはしっかりと皆様のご意見を受け止めていただいて、反映していただくということをお願いいたしまして、私からの意見とさせていただきます。本日は本当にお疲れさまでございました。

○森岡事業戦略担当課長

金子議員、ありがとうございました。

竹田議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

それでは、以上をもちまして令和6年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際に、資料3、天王寺区区政会議委員評価シートというものを出口のところで回収いたしますので、ご提出のほどよろしくお願いいたします。

本日ご提出できない場合は、来週、8月16日金曜日までにお送りいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。